

# 歳末助け合いで托鉢行

## 長岡京 光明寺僧侶ら経唱える



托鉢行の箱に浄財を入れて手を合わせる女性  
(長岡京市天神1丁目・阪急長岡天神駅前)

西山浄土宗総本山・光明寺(長岡京市粟生)

の僧侶らが「歳末助け合い托鉢行」を、同市天神1丁目の長岡天神駅前で実施。駅利用者や市民らが浄財を箱に入れた。

この托鉢行は師走恒例で毎年、京都西山短大の隨身学生や本山職員と幹部が取り組む。今年も16日までの3日間、集まった浄財を京都新聞社会福祉事業団に託す。

14日は日没とともに冷え込みが厳しくなる中、午後6時半から約2時間にわたり僧侶ら4人が、「歳末助け合い托鉢行」と書いたの

ほりを掲げて街頭に立ち、鉦鈸の音に合わせ一念に「南無阿彌陀仏」と唱えた。

僧侶らは箱に浄財が入れられると「布施は

功德をもたらす」という意味の「財法二施

功德無量 檀波羅密 具足円満」と経を唱え

ると市民らが両手を合わせ頭を垂れた。

(佐々木伸次)